

進路だより



令和7年1月8日発行
第3号
福島県立平支援学校 進路指導部

進路学習への取り組み

本校における進路学習は高等部職業科だけでなく、小学部から、児童生徒一人一人が自分の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択し、より前向きに生きていけるように、学校教育活動全体で取り組んでいます。

高等部においては、産業現場等における実習に取り組むことで進路実現のために必要とされる力を具体的に知り、自己のもつ課題を解決しながら進路決定につなげていきます。小学部・中学部においては、その土台となる部分を系統的に学習しています。

小学部・中学部の進路学習の一部をご紹介します。

小学部



小学部の進路学習の内容には『元気なあいさつ』があります。あいさつは、人と人とを繋ぐとても大切なものです。児童は、手にタッチしたり、口をもぐもぐと動かしたり、スイッチを利用したりして一人一人にあった方法であいさつに取り組んでいます。

みなさんも是非、子どもたちと『元気なあいさつ』を交わしてみてください。



中学部



中学部1～3年1組は、「株式会社ハニーズハートフルサポート」を訪問しました。会社概要や必要とされる人材についてのお話を伺い、健康面や生活面での自己管理、社員同士のコミュニケーションの大切さについて知ることができました。また、伝票の箱詰めや用紙の仕分けの体験を通して、一定時間、仕事に取り組む大変さを実感しました。現在の自分を分析し、将来のために今すべきことを考えるととても良い機会となりました。



高等部



後期産業現場等における実習を、10月21日(月)～25日(金)まで行いました。特に1年生は、初めての校外実習だったため、不安や緊張、充実感があつたことと思います。働くことの楽しさや大変さを実感し、社会参加するために必要なこと、課題や解決の方法について自ら考えることができ、進路実現に向けた有意義な学習の機会となりました。

【後期産業現場等における実習先一覧】

- 企業 矢吹薬局介護部アルプ、ドームいわきベース
- 就労継続支援A型事業所 ふわり
- 就労継続支援B型事業所 工房けやき、オハイアライ、ウーリーいわき、ミント、工房阿列布
- 生活介護事業所 天真庵、どリーむず、アルケン、ピースフルかべや、ぽおけらハウス、なないろくれよんデイルーム、おおきな傘、アライブ、自由空間、光の家

【就労継続支援B型事業所】 ミント

仕事内容はドライペットの並べ作業、袋詰め作業、パソコン作業ではお便り作成や名刺作成をしました。実習をしてみて新しい環境では、報告や質問をすることがあまりできなかったのもので、誰にでも報告、連絡、相談をできるように頑張りたいです。



【生活介護事業所】 天真庵

お弁当の配達やランタン作り、箸入れ作りなどの活動をしました。お弁当の配達では、初めての活動だったので緊張しましたが、ミスなくやりきることができました。次の実習では、担当の方と、コミュニケーションをもっと取りたいと思います。



【生活介護事業所】 アライブ

さおりいとでタッセルづくりをしたり、バリとりをしたりしました。スポーツたいかいでは、ふうせんバレーをしました。そつぎょうしたせんぱいと一しょにおんがくをきいたことがたのしかったです。また、アライブにいきたいです！



【企業】ドームいわきベース

仕事内容は事務補助(タグ付け、シールの作成と貼り付け)や現場で返品作業と袋詰めの仕事を行いました。実習を終え、時間を見て、時間配分を考えながら進めることが大切だと改めて分かりました。働くことは大変だけど、自分が成長できそうな気がしました。

【就労継続支援B型事業所】 工房阿列布

キャップづめとホチキスをやりました。キャップづめではふくろに5こ入れました。かずをまちがえないようにゆびでさしてかくにんしながらやりました。すごく楽しかったです。ごはんはすごくおいしかったです。せんぱいがたとおはなしをしました。すごくたのしかったです。

【産業現場等における実習報告会】



報告会の様子

12月6日(金)にプレイモールで行われました。発表はPCやタブレット端末、スイッチ教材を使用して、それぞれが実習で経験したことや学んだこと、来年に向けて取り組むべき課題などについて発表しました。ご参観いただいた保護者の皆様から、生徒に向けたメッセージの一部をご紹介します。

『実習で何をしたか。課題は何か。改善するにはどうするか。など、とてもよく伝わってきました。』

『卒業後の目標に向かって頑張ってください。応援しています。』

『1人ひとりがそれぞれの場所で目標をもって実習を行い、頑張った姿が分かりました。おつかれさま!!!』

実習報告会は、来年度も実施予定です。